

20230929 県民総ぐるみ「地域・学校づくりのつどい」(宮崎地区)

地域と学校の連携・協働について

～持続可能な人づくりが持続可能な地域づくりへ～

元 益田市教育委員会
ひとづくり推進監
NPO法人おむすび(申請中)
副理事長
大畑伸幸

小学校教員8年
中学校教員10年
社会教育行政20年目

六日市町教育委員会3年
匹見町教育委員会3年
益田市教育委員会5年
益田市教育委員会9年目

市民活動21年目
ネイチャーキッズ寺子屋



萩石見空港⇔10分⇔市役所
⇔90分⇔羽田空港





東京都23区以上の面積733km²のまち

島根県内 最大面積の中に、
20地区の集落 & 4万6000人



「過疎」発祥の地

面積の70%が中山間地域

3つの市街地と17の中山間地域



平穏な暮らしを早く、ゆとりある生活が出来るまち

豊富な余暇時間と 全国有数の出生率

全国 2位の余暇時間

島根県の平均年間休日 18日16分 (都道府県全国2位)

全国 2位の合計特出生率

島根県 1.69 (都道府県全国2位)

益田市 1.81 (全国129位、県内市町村2位、県庁市1位)



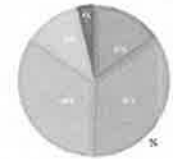
中高生対象2018年度益田版カタリ場事前アンケート

益田市には「なにもない」と感覚的に答える子どもたち

【益田市には、「なにもない」】

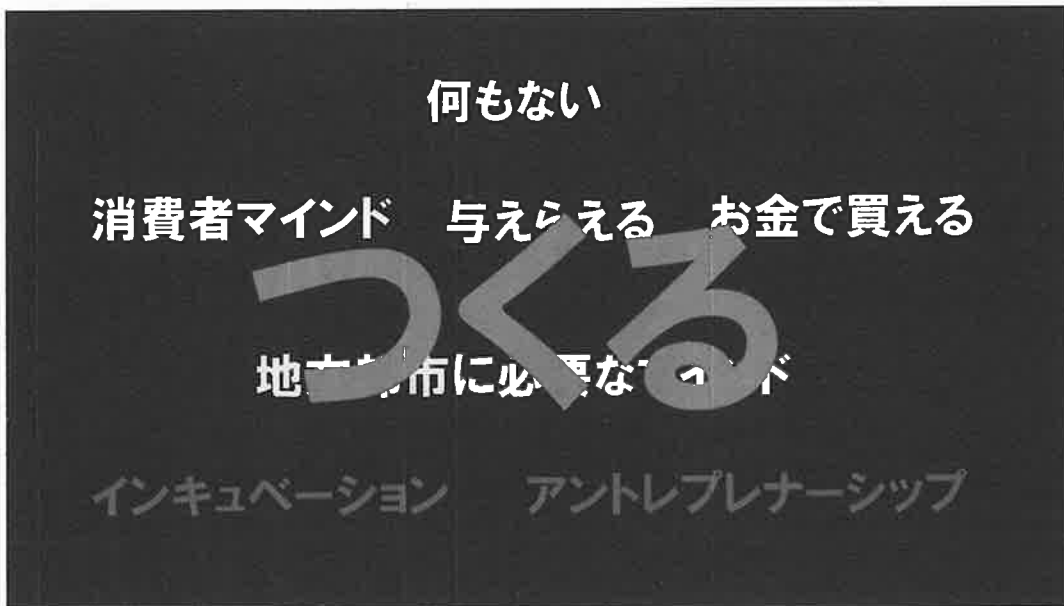
51%
 そう思う。

275人
 544人中



とてもそう思う
 ややそう思う
 あまりそう思わない
 全然そう思わない
 無回答

→ 都会のリソースフルな環境への憧れを醸成



全国1位の豊富な余暇時間に裏付けされた、多様な足場・顔を持てる環境
ワークキャリアから、ライフキャリアの概念へ



(1)仕事の顔



(2)地域での顔



(3)趣味での顔



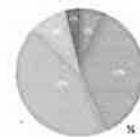
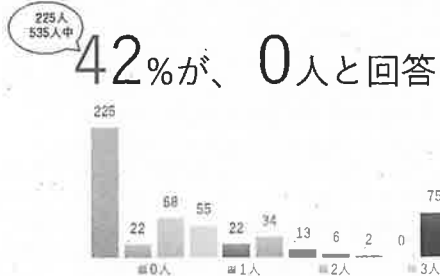
(4)家庭での顔

中高生対象2018-9年度益田版カタリ場事前アンケート

地域の大人と子どもが繋がれていない現実

【気軽に話をする事ができる、地域の大人の人数】

【益田市には魅力的な大人が多い】



→ ロールモデルとの出会いがないまま大人へ

原因その2

平成17年度から取り組んできた島根県のふるさと教育
ひと・もの・ことを知ることに特化した



ライフキャリア教育で、未来をつくる

Hiroaki Yamamoto

益田市長
山本浩章

ライフキャリア教育の背景・課題意識

進路
就職先
企業
ワークキャリア

人生観

どんな人になりたいか
何を大切にしたいか
生きがいは何か

(例) 人見知りを克服して、
積極的にいろんな人と話せるようになりたい。

ワークキャリアを包含したライフキャリア教育へ

17

ライフキャリア教育で大事にしていること

日々を前向きに生きている益田びととの

対 話

を通して、多様な価値観・生き方に触れる

18

ライフキャリア教育の目的

「どこに進学・就職するか」だけではなく、

(1) どんな環境でも、
“生き抜く力”を身につける。

世界のどこでも
活躍できる力

(2) 将来、益田を選ぶ種まきをする。

× 無理やり益田を好きにさせる。

19

益田市のライフキャリア教育

従 前

- ・キャリア教育 = ワークキャリア教育に偏重
- ・ふるさと教育 = ふるさとを知ること偏重

刷 新

(1) 仕事だけではない、多様な足場・顔(ライフキャリア)を知る

(2) ふるさとの人と繋がり、自分の手でまちをつくる

→新キャリア教育+新ふるさと教育 = ライフキャリア教育

ライフキャリア教育開始の系譜

2015年(H27)『益田市総合戦略』

目標: 人口減少問題の克服 / 5年間計画
 実施: 「ひとづくり協働構想」の策定

2016年(H28)『益田市ひとづくり協働構想』

目標: 総合戦略の推進
 実施: 「未来」「産業」「地域」の担い手づくり部会設置

2015年(H27)『益田市の未来を担うひとづくり計画』

目標: 「未来の担い手づくり」の促進
 実施: 「ライフキャリア教育」の実施

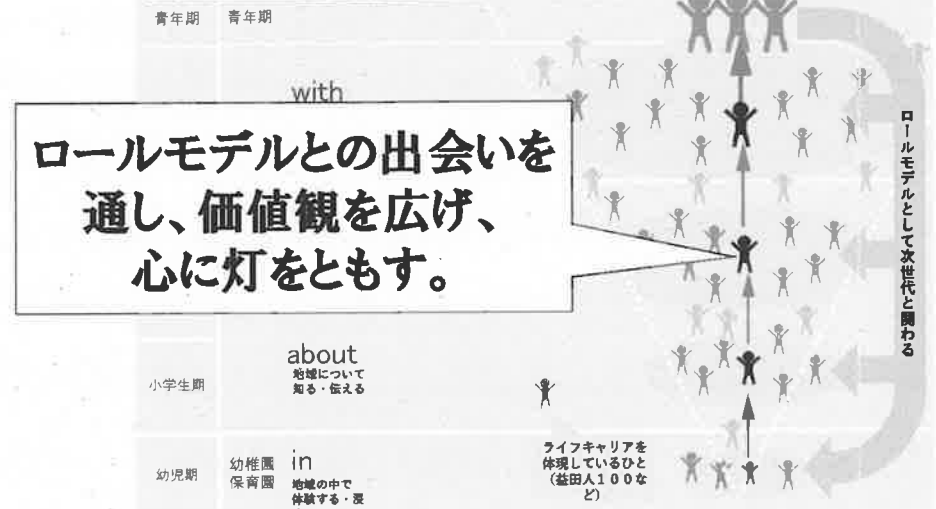
2021年(R2)『第6次益田市の総合振興計画』 & 『第2期益田市総合戦略』

全ての横断目標として「ひとづくり」と「協働」を位置づけ

「益田人100」を軸としたライフキャリア教育の流れイメージ図

○保幼・小・中・高など、すべての年代を通じて、活動の軸に「ライフキャリアを体現しているひと(益田人100)」との出会いを位置づけるプログラム。
 ○子どもたちが、各年代で出会いを積み重ね、出会いの輪を広げながら、目指す姿を達成する。

【目指す姿】
 ○日々の目標に対し、積極的に生き、自らの可能性を広げることのできるひと



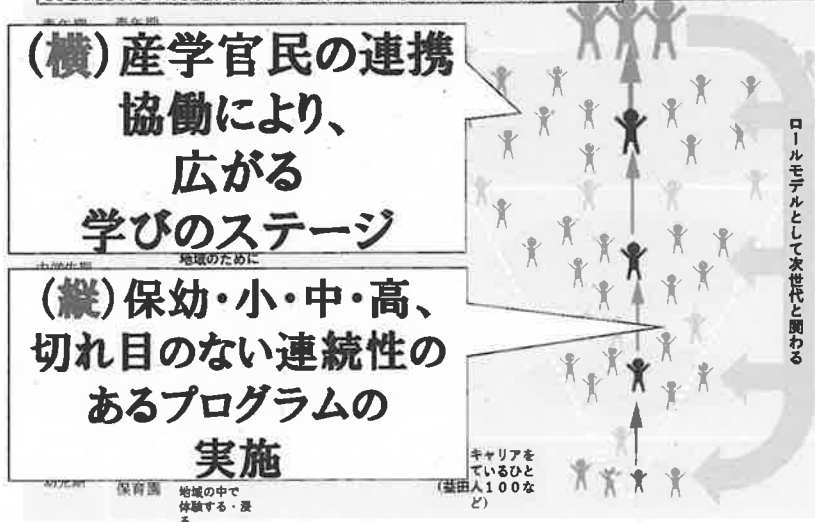
「益田人100」を軸としたライフキャリア教育の流れイメージ図

○保幼・小・中・高など、すべての年代を通じて、活動の軸に「ライフキャリアを体現しているひと(益田人100)」との出会いを位置づけるプログラム。
 ○子どもたちが、各年代で出会いを積み重ね、出会いの輪を広げながら、目指す姿を達成する。

【目指す姿】
 ○日々の目標に対し、積極的に生き、自らの可能性を広げることのできるひと

**(横) 産学官民の連携
 協働により、
 広がる
 学びのステージ**

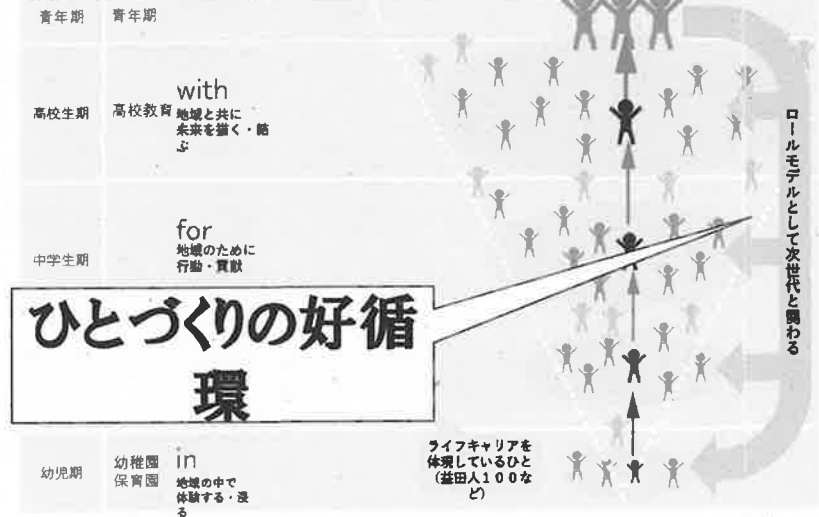
**(縦) 保幼・小・中・高、
 切れ目のない連続性の
 あるプログラムの
 実施**



「益田人100」を軸としたライフキャリア教育の流れイメージ図

○保幼・小・中・高など、すべての年代を通じて、活動の軸に「ライフキャリアを体現しているひと(益田人100)」との出会いを位置づけるプログラム。
 ○子どもたちが、各年代で出会いを積み重ね、出会いの輪を広げながら、目指す姿を達成する。

【目指す姿】
 ○日々の目標に対し、積極的に生き、自らの可能性を広げることのできるひと





益 田 版 カ タ リ 場

地域の大人とのつながりの一歩目
講演ではなく、1対1の対話

又 鳥根啓 益田市
ライフキャリア教育で
未来をつくる。

「カタリ場」とは？

高校生と首都圏の大学生が授業の中で語り合うキャリア学習プログラム。親や先生のようなタテの関係でもなく、友達のような横の関係でもない、ちょっと年上で利害関係のない「ナナメの関係」との対話がコンセプト。認定NPO法人カタリバが開発して、2001年度より首都圏を中心に展開されている。

[キーワード] #大学生 #一回きりの「ばいばい」の関係だから話せること

「益田版カタリ場」とは？

地域の大人と子どもが1対1で対等に語り合い、これから「どんな大人になりたいか」生き方を考える授業です。人との繋がりが希薄な時代だからこそ、2時間の授業の中で本音で話し合うことによって、子どもと地域の大人が繋がり、その後も気軽に話し合える関係になります。

[キーワード] #地域の大人 #「またね」の関係づくり



小学校で高校生と語り、



中学校で地域の大人と語り、



高校で働く大人と語り、



高校卒業前に、小学生に語る。

益田版
カタリ場

益田版カタリ場の種類

小学校カタリ場 小学生 × 高校生



「思春期」を終えた高校生から、これから「思春期」の小学生へ

- 卒業前の高校3年生とこれから中学生の小学5-6年生によるカタリ場
- 小学生が、中学・高校生活の未来のイメージを描くことができる
- カタリ場を受けてきた高校生は、学業生活を終える最後に、自分が誇り手として、小学生に語る

中学校カタリ場 中学生 × 地域の大人



「挨拶」の関係から、「相談」の関係へ

- 中学校区の地域の大人と中学生によるカタリ場
- 公民館と連携をして、地域の担い手がカタリ場に参加
- 地域で会う機会があるからこそ、しっかり関係をつくり、その後の地域での活動づくりのきっかけへ

高校カタリ場 高校生 × 企業の大人



ちょっと年上の先輩と、ちょっと先の未来を描く

- 社会人の若手や大学生と高校生によるカタリ場
- 市内企業と連携をして、若手職員がカタリ場に参加
- 住んでいる地区を超えて、多様な大人との繋がりが作り、活動づくりのきっかけへ

高校生カタリ場からの広がり

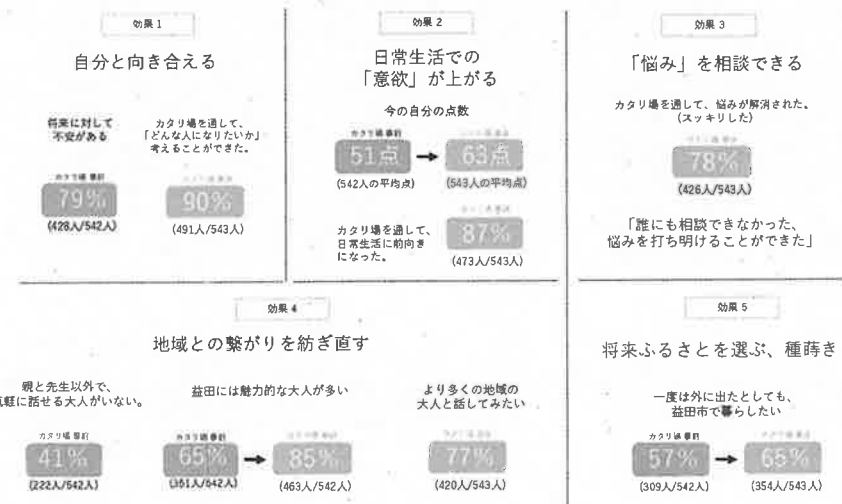


カタリ場からの活動の広がり

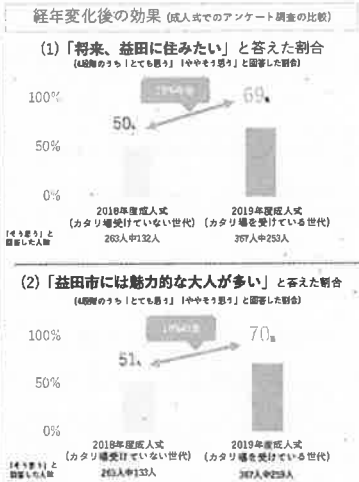


カタリバ参加キャスト → 地域で子どもと共に活動する伴走者へ

心に火を灯す「益田版カタリ場」の効果 2020年度



益田版カタリ場の実績



新・職場体験のポイント

又兼町田市
ライフキャリア教育で
未来をつくる。



求人票発行



生徒への面接試験



事業所との研修



事業所での対話



出会った想いを
まとめた記事を作成

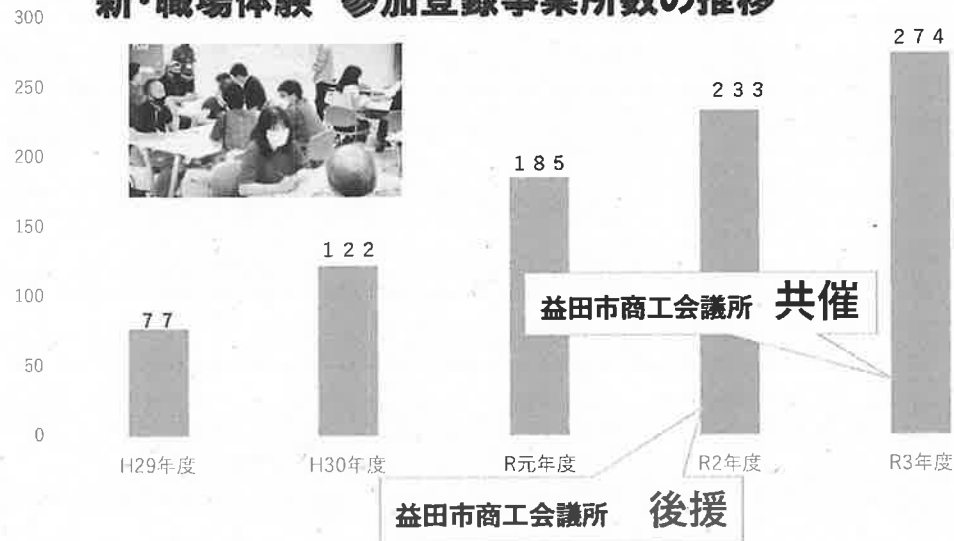


職場体験での対話の効果

又 益田市
ライフキャリア教育で
未来をつくる。

	対話がある と感じた	対話がない と感じた	
新職場体験において、 大人と働き方への思いや生きがいなどの 対話がありましたか??	143人	25人	対話によって、
働くことに対するイメージが良くなった	93%	60%	33%増
益田のことがすきだ	83%	48%	35%増
益田市は魅力的なまちだと思う	75%	32%	42%増
一度は外にでたとしても、 将来は益田で暮らしたい	49%	32%	17%増

新・職場体験 参加登録事業所数の推移



あらためて
「学校」と「地域」
を観ると

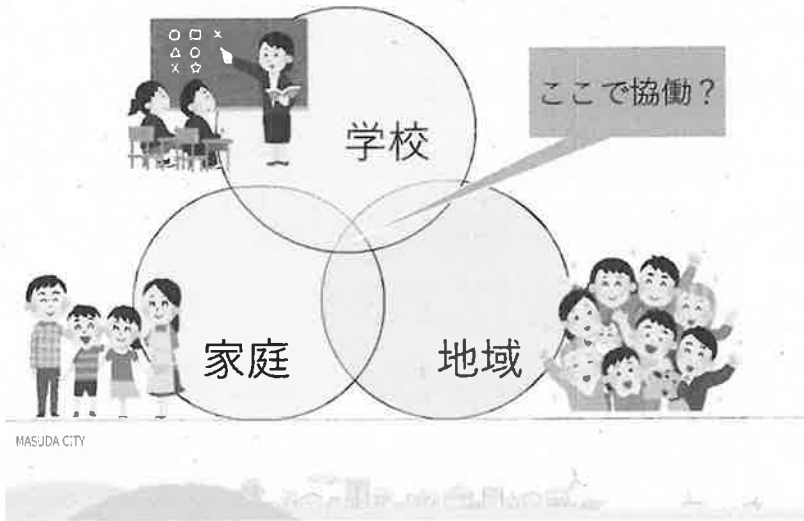
何のために
子どもを成長させるのか

より良い
『市民』としての
資質能力を
身に付ける

『個』の
可能性を
最大限伸ばす



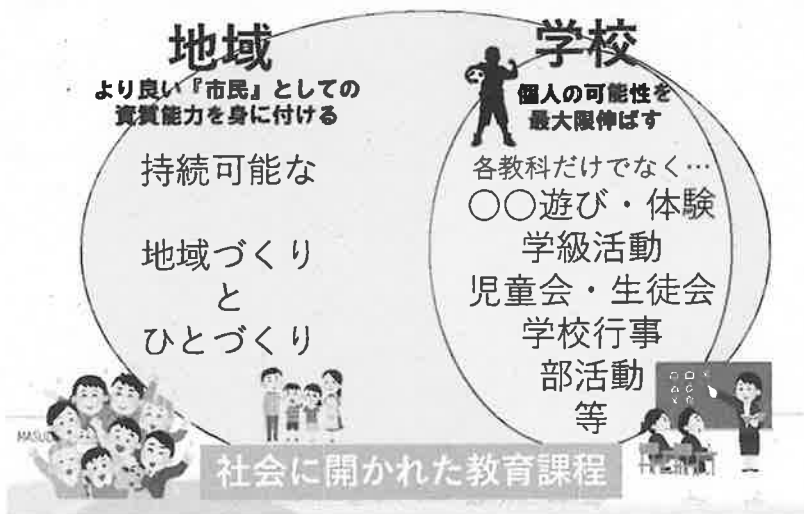
子どもの育ちを支える地域の力



子どもの育ちを支える地域の力



「子どもたちの成長のため」



公民館を拠点とした、中学生地域活動チーム



【北仙道地区】
陽光会



【豊川地区】
とよかわっしょい



【匹見3地区】
匹中会

→ 公民館職員による仕掛け&伴走

子どもたちの

地域での活動が豊かに！

活動の広がり

MASUDA CITY

地域での活動



MASUDA CITY

学校外での活動の広がり

地域での活動が豊かに！

子どもが変わる！



地域

MASUDA CITY

MASUDA CITY

ひまわり育つ未来
フォーラム 2023

地域の大人はどんな存在？



「NONSTYLE井上の体感！しまねの人づくり」第1章しまねの子どもたちがすごい！！～島根県益田市～

<https://youtu.be/ZbOmieMUE04?si=I8XE6Db0TbziWsvV>

「NONSTYLE井上の体感！しまねの人づくり」第2章しまねの若者に変化の兆し？

<https://youtu.be/crl23Nmn6nQ?si=N9MiqgpclxlgMcO5>

「NONSTYLE井上の体感！しまねの人づくり」第3章島と若者をつなぐキッカケとは？～島根県海士町～

<https://youtu.be/5qfmRMX2l1Q?si=Gdk0W8-fSchgXsAn>

「NONSTYLE井上の体感！しまねの人づくり」第4章若者のチャレンジを応援！～島根県雲南市～

<https://youtu.be/yxY9sJ-vadU?si=TxFLbicTypVNr8ua>

「NONSTYLE井上の体感！しまねの人づくり」第5章みんなでしゃべろうしまねの人づくり

<https://youtu.be/X5K9fu0WKQ0?si=kFvMBIkYrn129aaR>

島根県政番組から分かる
益田のひとづくりの好循環

学校外の活動が豊かに！

子どもが変わる！



子どもの活動を
中心に



地域

さらには・・・



大人が変わる！

ひとづくり・まちづくりへ

つながる

MASUDA CITY



©2021 Toonjuni Kase

○地域による学校を支える活動

子ども見守り活動



通学合宿



教育協働化事業



あいさつ運動



シニア楽校



読み語りボランティア



©2021 Toonjuni Kase

○PTA活動

スキー教室



親子ふれあい活動



ノーメディア運動



プール当番



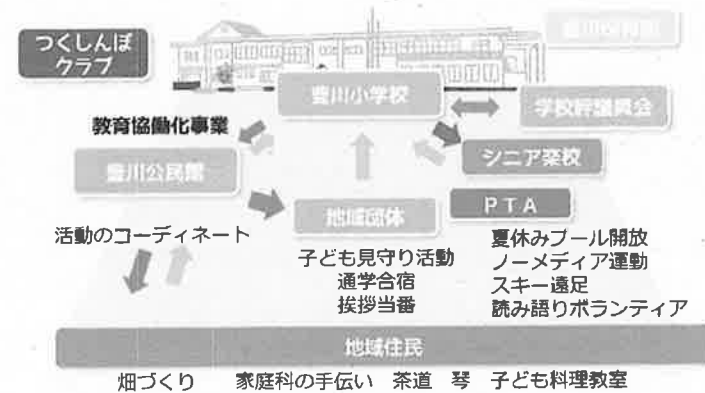
再生資源回収



バザー活動



©2021 Toonjuni Kase



地域全体で小学校を支えてきた

©2021 Toonjuni Kase

平成21年度

「益田市立小中学校再編実施計画」

豊川小学校が統廃合対象に

©2011 Tamaoki Koto

今の形のまま

少子化や高齢化が進行すれば
子ども達の教育環境が
良くなることはない。

©2011 Tamaoki Koto



- ・児童数が減少することで、これまで小学校を中心に行っている地域の取組みを同じ形で継続していくのは困難に。
- ・地域内に子どもが少なくなること、地域住民の子どもや小学校への関心が薄くなっていく。
- ・これまで小学校を支えてきた地域のボランティア団体も高齢化により活動の継続が困難に。

©2011 Tamaoki Koto



これまで子ども達を様々な形で支え続けてきた地域である豊川には「子どものために」という大人がたくさんいる



©2011 Tamaoki Koto

平成24年10月

豊川地区つろうて子育て推進協議会の設立

【設立目的】

地域で子どもに関わる様々な組織や団体が課題や現状を共有し、子ども達が育つ環境を再確認しながらより良い教育環境をつくるための、それぞれの役割について考えていく。



豊川地区つろうて子育て推進協議会

- 益田東中学校
PTA
- 豊川小学校
PTA
- 豊川保育園
保護者会
- 益田東中学校
放課後児童クラブ
- 豊川地区
豊川小学校
- 豊川地区
青少年育成市民会議
- 豊川地区
民生児童委員
- 豊川地区
社会福祉協議会
- 豊川地区連合自治会
- 豊川地区
豊川地区振興センター

豊川地区つろうて子育て推進協議会

<小学校の状況>

- ①児童数の減少
- ②PTA組織の弱体化
- ③教員と地域の関係の希薄化

<地域の状況>

- ①青年団や各種サークルなど同年代や近い年代の繋がりが希薄化
- ②既存のボランティア団体は高齢化により存続が困難に
- ③子どもがいない自治会も増え、学校や子どもとの繋がりが希薄化
- ④住民は地域の「将来」に不安はあるが「今」には困っていない

- ①つながりづくり～活動を通じた前向きなつながりづくり
○子ども×地域住民、親×親、親×地域住民、地域住民×地域住民
- ②活動の作り直し～子どもや地域の将来にとって必要な活動へ
○地域の活動のスクラップ&ビルド
- ③学びの場づくり～「人材発掘⇒人材育成⇒人材活用」の3ステップ
○あらゆる年代の学びの場づくり～子どもの学び、大人の学び（生涯学習）

豊川地区のめざす地域の将来像

みんな笑顔のとよかわづくり

○とよかわ寺子屋の開設(平成26年度～)

地域の中に学校外のつながりと学びの場を作る

- ・地域と子どもを繋げる学びの場を作る。
- ・子ども達に多様な出会いと体験の機会を作る。
- ・夏休みなど長期休業中や放課後の時間を充実させる。
- ・地域に本格的な英語教室を作る。(英語教室開設)



英会話教室



モデルロケットづくり教室



石見神楽教室



取づくり教室

<その他これまでに行った教室>

プログラミング教室 歴史バスツアー e-board教室 ロボット教室 ティーボール教室 ペットボトルいかだ作り教室
書初教室 アート教室 はちみつ教室 川遊び教室 ドローン教室 茶レンジ教室 ぐるぐるパンづくり教室
星空観察会 子ども料理教室 ジュニアテニス教室 自学支援教室 ウォーターボーイズ体験教室 etc...

○とよかわ寺子屋英語教室(平成26年度～)

【講師】 スカリー悦子 (元九州大学教授)

【対象】 小学校高学年～高校2年生

- ・自治医科大学への進学者や、鳥根県高校生ディベートコンテストのベストディベーター賞の受賞者、益田市グローバルリーダー養成事業の選抜者などの成果が出ている。



親子対象の説明会の様子

とよかわの家を利用した九州大学留学生センターの学生との交流やZoomを活用した教室の開催を予定



中学生教室



小学生教室

○中高生地域活動グループ「とよかわっしょい!!」
(平成26年度～)

- 地域の中に中高生の居場所（サードプレイス）を作る
 - ・地域で中学生や高校生の居場所や役割を作る。
 - ・中高生が地域の大人と出会う機会を作り、学校だけでなく地域社会との接点を増やす。



豊川地区連合運動会への
種目提案と実施
地域の皆さんを盛り上
げたいと地区の連合運動
会にオリジナル種目を提
案!

豊川地区文化祭での出店
地域の方々に作って
もらった小学校のピザ窯で
手作りピザを作り販売。
オリジナルメニューも自
分たちで考えます。

○豊川小学校がコミュニティスクールに指定(平成27年度)

「子ども × 地域 × 親 × 学校」の新たな仕組みをつくる

- ・豊川地区つろうて子育て推進協議会を母体として、子どもについて語り合える学校運営協議会を作る
- ・学校での学びを地域へ。地域での学びを学校へ。
- ・学校運営協議会の委員は「豊川地区つろうて子育て推進協議会」が推薦したものに限る。

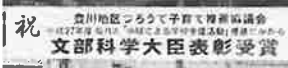
豊川小学校学校運営協議会

の活動で

推薦委員

報告相談

豊川地区つろうて子育て推進協議会



子どもの学校外の学びの場が充実



○社会教育コーディネーターの配置 (平成28年4月～)

学校と地域を繋ぐ「人材」の配置



○学校に地域交流スペースを整備

- 小学校内に地域のための居場所をつくる
- ・小学校内に地域の人が訪れやすいよう空き教室を地域交流スペースに整備。
- ・中高生の活動の拠点としても活用。



中高生がどんな場所になりたいかを話し合い

地域の皆さんにも意見を聞きたいと中高生がワークショップを開催

プロの指導を受けながら、中高生が壁紙貼りを実施



子どもの学校内外の学びの充実へ

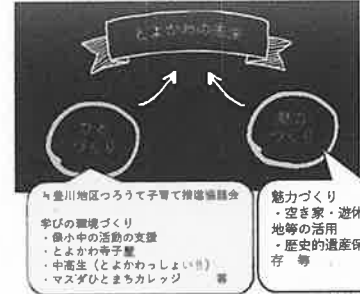
地域



○とよかわの未来をつくる会の設立 (平成29年8月)

豊川地区の地域自治組織「とよかわの未来をつくる会」の設立

- 子ども達が地域活動に取り組む姿が大人を動かす。
- これまでの「豊川地区っろうて子育て推進協議会」の取組みを基盤とした地域自治組織の設立。
- 豊川地区っろうて子育て推進協議会を「ひとつくり部会」として組織の中心に。



設立総会には小学生や中学生も含めて300名以上の地域住民が参加し、シンポジウムには「とよかわっしょい!!」の高校生が登場しました。



とよかわの未来をつくる会



人材発掘・人材育成を組織の中心に

H30.7/28 OECD/Japanセミナー

School-Community Partnerships がカリキュラム・マネジメントに寄与した事例 (島根県益田市立豊川小学校)

- School-Community Partnershipsにより、Community Coordinatorを中心に、地域ぐるみで子供を育む方向性を共有。活動を協働化し、カリキュラム・マネジメントにも寄与。
- 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、地域の教育力も高まり、大人も子供も学び合う「学びの循環」へ



<Community Coordinatorの役割>
 ・子供の学びの場と地域の関係性を高め、協働化すること
 → 子供の地域への参画 → 市民教育すること
 ・学校のカリキュラム・マネジメントに寄与すること

<カリキュラム・マネジメントの更新>
 ① 授業で子供たちが学びを深める場において、教師だけでは難しい学習の場から協働化することで、地域住民の力を活用して実施。
 ② 授業前、その場を盛り上げた大人数の準備活動や振り返りの活動が実施されていたが、学校・Community Coordinator・協議会の協働により、必要に応じて切り替えて実施。Community Coordinatorが調整し、学校・地域の双方にとってより良い手法に転換することができ、児童の学びの充実にもつながった。

平成30年版文部 科学白書

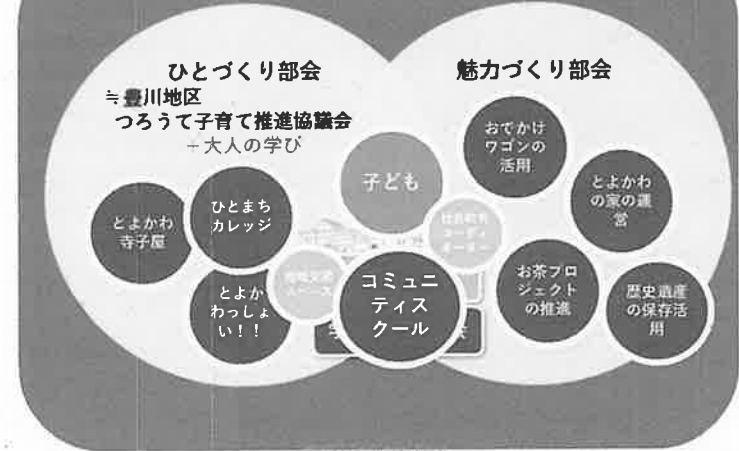
第3章「生涯学習社会 の実現」

「社会に開かれた教育課程」の実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

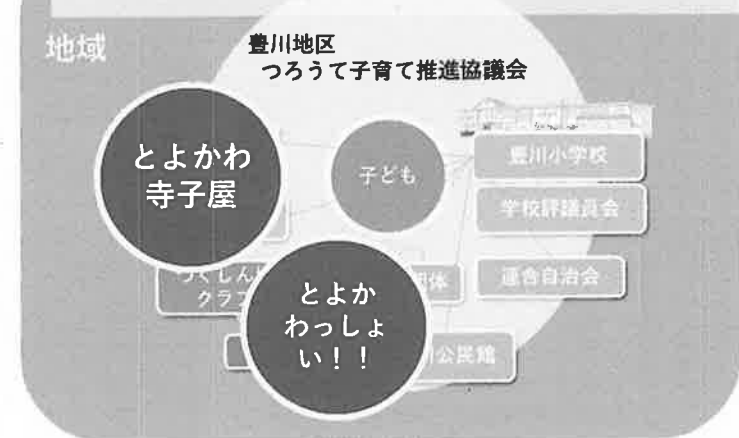


©2018 | Tughiyaeri Kaito

とよかわの未来をつくる会



子どもの学校外の学びの場が充実



豊川地区

豊川小学校・益田東中学校
豊川公民館

子どもの学校内外の学びの充実へ

地域

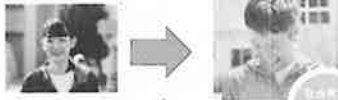


とよかわの未来をつくる会



人材発掘・人材育成を組織の中心に

社会教育コーディネーターの交代



第2期豊川地区まちづくりプランの策定

第2期活動計画に基づく取組みがスタート



内閣府発行 ふるさとづくり事例集に掲載



「みんなを動かし笑顔にする
豊川安心・安全まちづくりプラン」

5・6年生13人による13の提案

益田市立豊川小学

- とよかわ寺子屋
- お茶プロジェクトの開催
- おでかけプログラムの活用
- とよかわの草の存続
- 歴史遺産の保存活用

©2021 Tsuहितsumi Kōmei

「とよかわの家」をもっとPR!

豊川地区にある歴史的な家屋を豊川の人々に知って
もらいたいと思っております。また豊川の人と仲良く
なり豊川市に誇りを持って暮らすことのできるように
思っています。そのために様々な活動や取り組みを
していきたいと考えています。

具体的内容としては、市民開放をすることで
身近で歴史の宝庫を鑑賞できるようにしたいです。
活動として、歴史の宝庫に自然の物や古道具や
昔の道具などを展示し、市民開放をすることで
豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。また、市民開放をすることで
豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。また、市民開放をすることで
豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。

豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。また、市民開放をすることで
豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。



とよかわの家
の歴史

豊川地区にある中世の歴史遺産を もっとたくさんの人に知って欲しい!

私は豊川の歴史遺産を豊川の人々に知って
もらいたいと思っております。また豊川の人と仲良く
なり豊川市に誇りを持って暮らすことのできるように
思っています。そのために様々な活動や取り組みを
していきたいと考えています。

具体的内容としては、市民開放をすることで
身近で歴史の宝庫を鑑賞できるようにしたいです。
活動として、歴史の宝庫に自然の物や古道具や
昔の道具などを展示し、市民開放をすることで
豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。また、市民開放をすることで
豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。

ラジオ体操出発式&久々茂遺跡ウォーキング



歴史遺産の
保存活用

みんなと外で楽しく遊びたい!

8月7日 竹で水遊び教室

私は豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。また、市民開放をすることで
豊川の人と仲良く暮らすことのできるように
思っています。



とよかわ
寺子屋

水引でみんなを笑顔にしたい!

おでかけワゴンも地域のみんなに知って欲しいという小学生の提案を基に、地域との話し合いにより作成

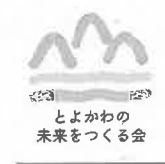
8月21日水引アクセサリ教室

とよかわ女子校



とよかわ女子校

とよかわの未来をつくる会・とよかワゴンのロゴの作成



おでかけワゴンの原案

原案

小学生がイメージする豊川の山・学校・川により表現

おでかけワゴンをもっと地域の人に知って欲しいという提案をしていた小学生自らの原案を基に、地域との話し合いにより作成

子どもの13の提案をすべて実現!



地域・学校が一体となり、地域の未来を創造する活動を展開



どうせやるならみんなで楽しく！
丁寧に人の繋がりをつくる

©2021 Toyokawa, Kanto

「とよかわの家」の充実に向けて

○竹垣づくり



とよかわの未来をつくる会魅力づくり部
会の活動として実施

with 豊川小学校PTA親子活動、とよかわっしょい!!、益田東中
学校生徒

7月27日 益田東中学校総合学習



©2021 Toyokawa, Kanto



10月15日 益田東中学校総合学習



©2021 Toudaiho Kōza



「竹垣を作ること」だけを 目的化しない

令和元年度

「今後の小中学校のあり方実現に向けた実施計画」

②地域と学校の連携を進める仕組みづくり

国においては、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を積極的に推進することが必要であるとしており、自治体においては、地域や学校の特徴、実情を踏まえつつ、積極的に推進していくことを示しています。

地域と学校が更なる連携を深めるためには、日常的にその間を取り持つコーディネートの機能をいかに確保するかを検討することが必要となっています。学校、PTA、地域自治組織、公民館、各種協議会等による新たな仕組みづくりに向けた話し合いを密にすることはもちろんのこと、地域と学校との連絡調整や企画を担うコーディネーターと地域とが連携し、「地域づくり」と「ひとづくり」を一体となって進めている豊川地区

保育園・公民館とも協働している豊川小学校

豊川から地域を盛りだてた生活の場がある。

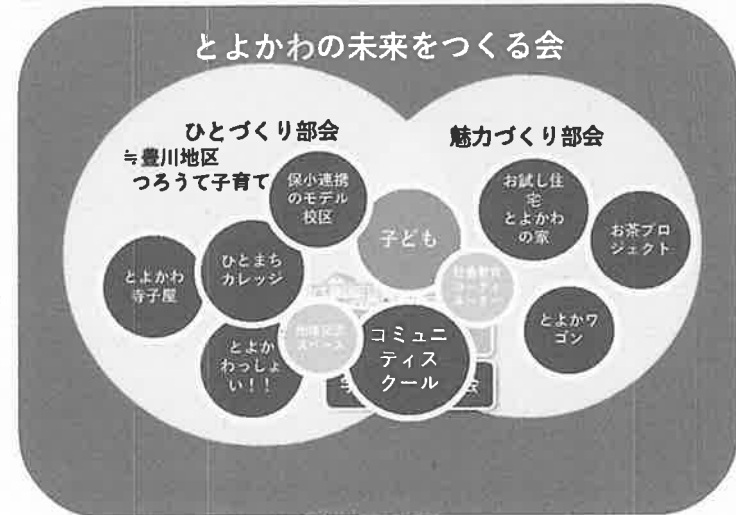


地域の拠点となる可能性を模索している。

豊川小学校はモデル校に

©2021 Toudaiho Kōza

とよかわの未来をつくる会

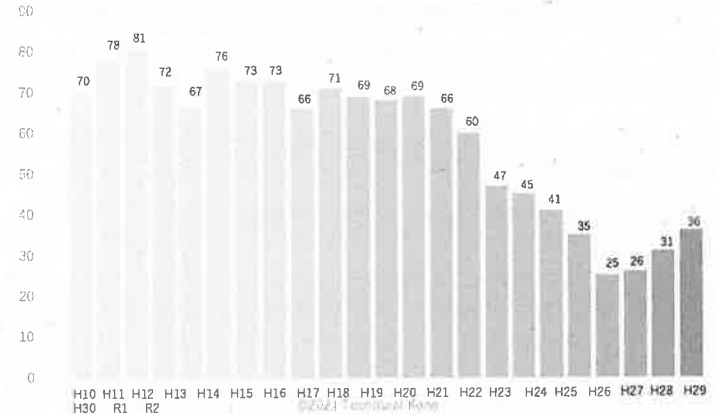


スクールコミュニティづくりの展開（平成24年度～令和元年度）

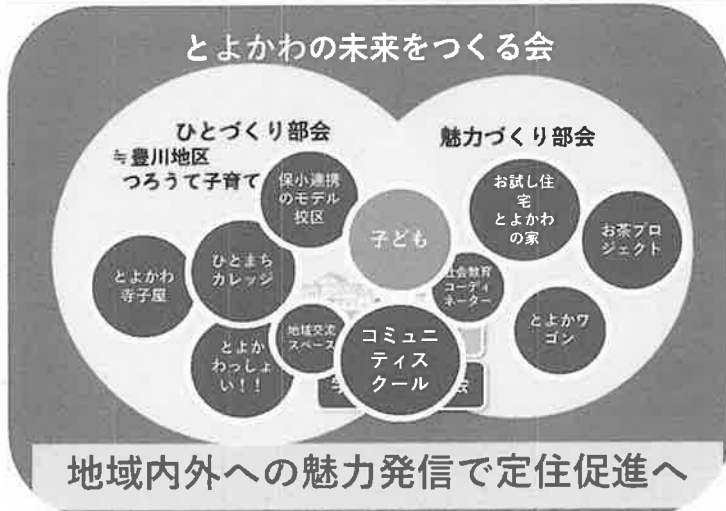
	第1フェーズ (H24～H27年度)				第2フェーズ (H28～R1年度)				第3フェーズ (R2年度～)
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2～
組織	豊川地区つろうて子育て推進協議会				とよかわの未来をつくる会				
豊川小学校	子どものために		子どもの「やりたい」を実現 大人にとっての楽しみに		子ども「やりたい」を実現		子どもも大人も まちづくりの主体者へ		
中高生 地域活動	最初はイヤイヤ				「やりたい」を実現		中高生もまちづくりの主体者へ		
大人の学 びの場づ くり	公民館での講座				マスタワトキカレッジ		よしがキャンパ と		
地域内交 流の促進									
空き家活 用 Uターン 受入れ					空き家所有者		子ども達の姿に 刺激を受ける 大人も まちづくりの主体者へ		
遊休地の 整備									

スクールコミュニティづくり 第3フェーズ（令和2年度～）

豊川小学校児童数の推移
【平成10年度～令和2年度】



スクールコミュニティづくり 第3フェーズ（令和2年度～）



西益田地区

西益田小学校・横田中学校
西益田・豊田公民館

西益田地区のライフキャリア教育の流れイメージ図



大人の心に火をつける中学生！

- ①僕たち中学生が地域の中で、活動することで、
地域は元気になると思うんです！
- ②同時に僕たち中学生も人として、
成長できると思うんです！
- ③成長した僕たちが横中に帰ることで、
横中は今よりもパワーアップすると思うんです！



@横田中学校 校長室



@次世代育成検討委員会